

県立総合リハビリテーションセンター

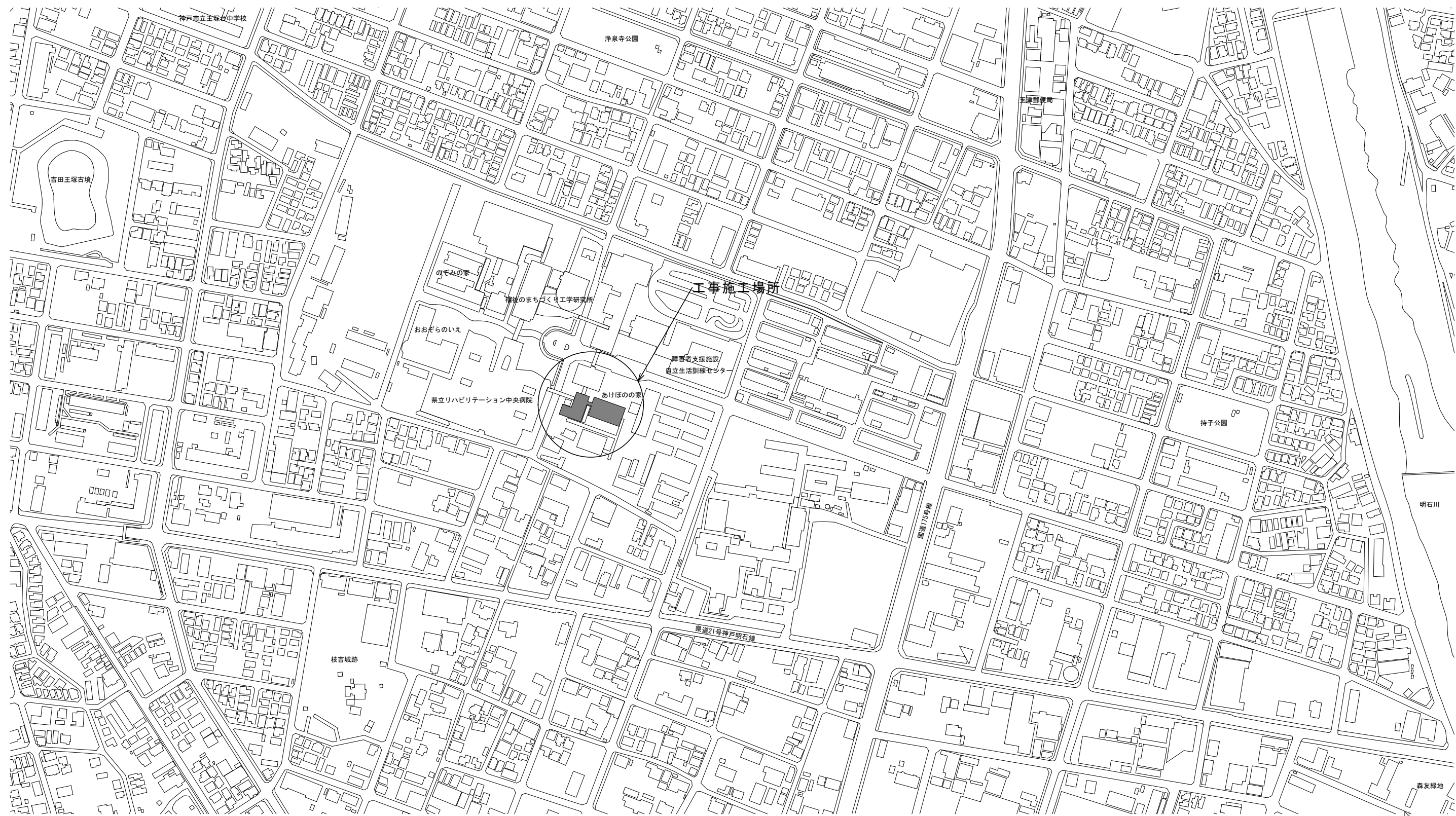
あけぼのの家空調改修工事

図面リスト							
No.	建築工事設計図	No.		No.	電気設備工事図面	No.	機械設備工事図面
A-01	目次			E-01	電気設備工事特記仕様書	M-01	特記仕様書（機械設備工事）
A-02	特記仕様書（1）			E-02	室内ユニット電源設備1階平面図	M-02	空調機器表
A-03	特記仕様書（2）			E-03	GHP空調機電源設備1階平面図	M-03	1階改修平面図
A-04	附近見取図					M-04	あけぼの空調改修平面図
A-05	配置図					M-05	1階室外機廻り配管平面図
A-06	改修前1階平面図					M-06	1階撤去平面図
A-07	1階平面図					M-07	あけぼの空調撤去平面図
A-08	2階平面図						
A-09	3階平面図						
A-10	1階天井伏図						
A-11	雑詳細図（別途工事参考図）						

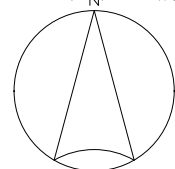
特記事項	設計	設計年月日 6年11月 日	訂正年月日 年 月 日	名称 県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 01
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検 図		
		一級建築士 大臣登録 第243356号			

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																							
5	ステンレス製建具 標仕5.6.1 ～標仕5.6.5	材 料 ステンレス鋼板 (■ S U S 3 0 4 ■ その他 (S U S)) 既存建具の改修 ■ 詳細は図面特記による 表面仕上げ ■ ヘアライン ■ 鏡面 ■ 曲げ加工 ■ 普通曲げ ■ 角出し マスターキー ■ 要 ■ 不要 (※コンストラクションキー対応については監督職員と協議する。) 種 類 ■ 一般重量シャッター ■ 外壁用防火シャッター ■ 屋内用防火シャッター ■ 防煙シャッター 耐風圧性能 ■ 一般重量シャッター ■ 外壁用防火シャッター 風圧力 () N/m ² 開閉形式 ■ 上部電動式 (手動併用) ■ 上部手動式 耐風圧性能 ■ 風圧力 () N/m ² ガラス留め材 ■ シーリング材 () ■ 建築用ガスケット (J I S A 5 7 5 6)	6	畳敷き 標仕6.12.2	種別 (■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種 () ■ 柔道用) 合板類の張付け工法 ■ A種 ■ B種 ◎ 石膏ボードの継ぎ目処理工法 ◎ 突付け工法 ■ 目透し工法 ■ 継目処理工法 ◎ 遮音シール材 ■ 要 ■ 不要 ■ 防虫処理 ■ 難燃処理 ■ 防火処理 壁紙張り 標仕6.14.1 ～6.14.3 ■ 品質 () ■ 防火性能 (不燃) 素地こしらえ (■ R A種 ■ R B種) ■ 既製目地材 ■ 使用する ■ 床目地の工法 ■ 押し目地 ■ () モルタル塗り 標仕6.15.1 ～6.15.7 ■ 役物の適用 (■ 有 ■ 無) ■ 見本焼き (■ 有 ■ 無) ■ 試験張り (■ 有 ■ 無) ■ 床タイル張り ■ 大型床タイル (200角以上) 張り ■ 一般床タイル張り ■ ユニットタイル張り ■ 内装タイル張り ■ 改良種上げ張り ■ 壁タイル接着剤張り ■ 外装タイル張り ■ 改良種上げ張り ■ 改良圧着張り ■ マスク張り ■ 型枠先付け ■ ユニットタイル張り ■ マスク張り ■ モザイクタイル張り ■ シーリング材 (■ P S - 2) ■ 目地寸法 (■ 幅 mm ■ 深さ mm) ■ 石膏系 ■ セメント系 ■ セルフレベリングの塗り厚 (mm)	8	コンクリートの材料 標仕8.2.5	セメントの種類 ■ 普通ポルトランドセメント ■ 早強ポルトランドセメント ■ 高炉セメント (B種) ■ シリカセメント ■ フライアッシュセメント ■ 18 N/mm ² ■ 21N/mm ² ■ 24 N/mm ² ■ 27 N/mm ² ■ 30 N/mm ² ■ 33 N/mm ² ■ 36 N/mm ² ■ 軽量コンクリート (N/mm ² : 27N/mm ² 以下) ■ 高性能A E減水剤 ■ A E減水剤 ■ A E剤 ■ A種 ■ B種 ■ C種 ◎ 各試験実施機関は兵庫県コンクリート工法に関する指導要綱第8による試験実施機関とする。 ◎ 適用箇所 (図面特記) ■ 種類 ■ 1種 ■ 2種 ■ 所要乾単位容積質量 (t/m ³) ■ 接着系アンカー ■ 有機系 ■ 無機系 ◎ 引張耐力 (構造図特記) ◎ 有効埋込深さ (構造図特記) ■ 金属拡張系アンカー 引張耐力 () N/mm ² ■ 有効埋込深さ () d 以上 ■ JCAの資格者 (あと施工アンカー技術管理士又はあと施工アンカー主任技師) ■ 上記と同等の知識及び経験を持った者 標仕8.11.1 ■ ◎ 埋込み配管等の探査方法 (鉄筋探査器により確認) ■ JCAの資格者 (第1種あと施工アンカー施工士) ■ 左記と同等の知識及び経験を持った者 標仕8.11.5 ■ 全数打音試験 ■ 引張試験 (確認試験荷重: 引張耐力×2/3) ■ 工事現場における鉄骨製作工場の表示 (■ J'グレード' ■ B'グレード' ■ M'グレード' ■ H'グレード' ■ S'グレード') ■ 適用する (級) ■ 規格品 ■ 適合品 ■ S N (A , B , C) ■ S M () ■ S S () ■ S T K () ■ S T K R () ■ S S C () ■ トルシア形高力ボルト2種 (S10T) 認定品 ■ JIS形高力ボルト2種 (F10T) ■ 溶融亜鉛メッキ高力ボルト1種 (F8T相当) 認定品 ■ 要 ■ 不要 ◎ 鉄骨標準図に図示 見隠れエンドタブ切断 標仕8.14.7 溶接部の試験 標仕8.14.11 耐火被覆 標仕8.17.1 ～8.17.8 ◎ 超音波探傷試験 ■ その他 () ■ 耐火材吹き付け (■ 乾式 ■ 半乾式 ■ 湿式) ■ 耐火板張り (■ 直張り ■ 箱張り化粧下地) ■ 耐火材巻き付け ■ ラス張りモルタル塗り ■ その他																							
	建具用金物 標仕5.7.1 ～5.7.4 重量シャッター 標仕5.10.1 ～5.10.5 軽量シャッター 標仕5.11.1 ～5.11.5 ガラス 標仕5.13.1 ～5.13.2	既存床の撤去 (■ 有 ■ 無) 下地モルタル ■ 撤去の有無 (■ 有 ■ 無) ■ 浮き・欠損部の撤去 (■ 要 ■ 不要) 合成樹脂塗床材の除去工法 ■ 機械的除去工法 ■ 目荒らし工法 ◎ 改修後の床の清掃範囲 () 間仕切壁撤去後に伴う構造体の補修 ■ モルタル塗り (標仕4.4.9)による ■ その他 () ◎ 天井撤去の方法 () ■ 全面撤去 (仕上げ材・下地材・軽量鉄骨下地) ◎ 部分撤去 (◎ 仕上げ材 ■ 下地材 (■ 軽量鉄骨下地)) <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>適用部位</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種</td> </tr> </table> 木材の含水率 標仕6.5.2(a)(2) ■ 造作材 (■ A種 ■ B種) ■ 下地材 (■ A種 ■ B種) ■ A種 ■ B種 ■ 禁止する ■ 標仕表6.5.4による ■ 造作用集材材 (JAS規格品) ■ 樹種 () ■ 樹種 使用所 () ◎ 木材の防蟻・防蟻処理は加圧式「リキ」等を含有しない非有機系薬剤とし、加圧式防蟻・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。 ■ 間仕切り軸組材 (■ 杉 ■ その他) ■ 床組 (■ 杉 ■ 松 ■ その他) ■ 土間スラブの場合の土台、転ばし大引き、転ばし根太 (■ 松 ■ 保存処理木材 ■ その他) 壁及び天井下地 () ■ 下地材の樹種 (■ 杉 ■ 松 ■ その他) ◎ 材 料 ◎ 天井: 野縁の種類 (◎ 19形 ■ 25形) ◎ 形状及び寸法 ◎ 野縁の間隔 (■ 360程度 ◎ 300程度 ■ 225程度) ■ 形状及び寸法 ■ 壁・スタッドの種類 (■ 50形 ■ 65形 ■ 90形 ◎ 100形) 接着剤の種類と使用箇所 ■ ビニル床シート及びビニル床タイルの接着剤 詳細は図面特記による ■ ゴム床タイル用接着剤 詳細は図面特記による 工 法 ■ ビニル床シートの熱溶接工法の適用 (■ 要 ■ 不要) ■ 織りじゅうたん (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ カットカーペット ■ n'の形状 () ■ n'の長さ (mm) ■ 工法 (■ グリッド工法 ■ 全面接着工法) ■ コード・n'カーペット (厚さ mm) ■ タイルカーペット (総厚さ (mm) n'の形状 ()) ■ カット下敷き材 () ■ 厚さ (mm) ■ 弾性が劣化する床 ■ 厚さ (mm) ■ 平滑仕上げ ■ 防滑仕上げ ■ つや消し仕上げ ■ 漆・樹脂塗床 ■ 薄膜流し膜べ工法 ■ 平滑仕上げ ■ 防滑仕上げ ■ 厚膜流し膜べ工法 ■ 平滑仕上げ ■ 防滑仕上げ ■ 樹脂砂利工法 ■ 平滑仕上げ ■ 防滑仕上げ ■ 薄膜型塗床工法 ■ 平滑仕上げ ■ 単層フローリング (■ フローリング'グレード' ■ フローリング'ブロック' ■ ゴム'カーペット') ■ 複合フローリング (■ 複合1種 ■ 複合2種 ■ 複合3種) ■ 樹種 (ナラ) ■ 板厚 (15 mm) ■ 塗装 () ■ 釘留め工法 (■ 根太張り工法 ■ 直張り工法) ■ 湿式工法 (ゴム埋込工法) ■ 接着工法 ■ 特殊張り工法 (体育館床工事標準施工要領書: 日本フローリング工業会)		適用部位	種類			■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種		■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種		■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種		■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種	下地調整 標仕7.2.1 ～7.2.7 ■ 木 部 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ 鉄鋼面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ モルタル面・プラスター面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ コンクリート面・A L C面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ コンクリート面・押出成形セメント板面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ◎ 石膏ボード面・その他ボード面 (■ R A種 ◎ R B種 ■ R C種) ■ 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ■ 塗料の種類 (■ 1種 ■ 2種) ■ 木 部 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ クリヤラッカー塗り (C L) (■ A種 ■ B種) ■ フタル酸樹脂エナメル塗 (F E) ■ 木 部 ■ 鉄鋼面及び垂鉛めっき鋼面 ■ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (N A D) ■ コンクリート面・モルタル面 (■ A種 ■ B種) ■ 耐候性塗料塗り (D P) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 上塗りの等級 (■ 1級 ■ 2級 ■ 3級) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 上塗りの等級 (■ 1級 ■ 2級 ■ 3級) ■ コンクリート面・押出成形セメント板面 (■ A-1種 ■ A-2種 ■ B-1種) (■ B-2種 ■ C-1種 ■ C-2種) ■ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) ■ コンクリート面・モルタル面 プラスター面・石膏ボード面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ その他ボード面 ■ 木 部 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ◎ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P) (■ A種 ◎ B種 ■ C種) ■ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (E P - T) (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) (■ A種 ■ B種) ■ ラッカーエナメル塗り (L E) (■ A種 ■ B種) ■ オイルステイン塗り (O S) ■ 木材保護塗料塗り (W P) ■ マスチック塗料塗り (■ A種 ■ B種)	アスベスト処理工事 標仕9.1.1 ～9.1.3 ■ 除去工法 ■ 封じ込め工法 ■ 除去したアスベスト含有付材等の飛散防止 ■ 湿潤化 ■ 固化 ◎ 施工計画書を作成のうえ監督職員の承諾を受けること。 ◎ 改修工法の種類 (図面特記) 断熱アスファルト防水改修工事 標仕9.2.3 外断熱改修工事 標仕9.3.1 断熱・防露改修工事 標仕9.5.1 ～9.5.3 ■ 打込み工法 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ mm</th> </tr> <tr> <td>■ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 押し出し法ポリスチレンフォーム</td> <td>保温板 (2種 b)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保温板 (3種 b)</td> </tr> <tr> <td>■ 硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ フェノールフォーム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ ロックウール</td> <td>保温板 ()</td> </tr> <tr> <td>■ グラスウール</td> <td>保温板 ()</td> </tr> <tr> <td>■ セルローズファイバー</td> <td></td> </tr> </table> ◎ 現場発泡工法 ■ 断熱材の種類 ■ A種 1 ■ A種 2 ■ A種 3 ■ B種 1 ■ B種 2 ■ 厚さ () mm ◎ 適用範囲～工法は図面特記による ■ 枯補償期間 (建物引渡日の翌日から1年間) 屋上緑化改修工事 標仕9.6.1 ～9.6.4 (一般のアスファルト舗装改修工事に準用する) 透水性アスファルト舗装改修工事 標仕9.7.1 ～9.7.9 ■ 盛土 (■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種) ■ 遮断層 (材料、層厚: mm) ■ 凍上抑制層 (材料、層厚: mm) ■ フィルター層 (材料、層厚: mm) ■ 砂の粒度試験 (■ 要 ■ 不要) ■ 路床安定処理剤 () ■ ジオテキスタイル (■ 要 ■ 不要) ■ CSR試験 (■ 要 ■ 不要) ■ 路床締め固め度の試験 (■ 要 ■ 不要) ■ 路盤の厚さ (mm) ■ 路盤材料 (■ 砕石 ■ 再生材 ■ 鉄筋スラグ他 ()) ◎ 路盤の厚さ及び締め固め度試験 ■ 表層の厚さ ■ (30mm) ■ (mm) ■ 材料 (■ 再生アスファルト ■ ストレートアスファルト) ■ 加熱アスファルト混合物の種類 (■ 一般地域 ■ 寒冷地域) ■ カラー舗装基層 (■ 有り ■ 無し) ■ カラー舗装の着色骨材 (焼成) ■ 有色骨材 (樹脂皮膜) ■ アスファルト混合物等の抽出試験 (■ 要 ■ 不要) ■ 種類 () ■ 厚さ () ■ 設計基準強度 (N/mm ²) ■ スランプ (cm) ■ 注目地材 (■ 低弾性タイプ ■ 高弾性タイプ) ■ コア採取 (■ 要 ■ 不要)	種類	厚さ mm	■ ビーズ法ポリスチレンフォーム		■ 押し出し法ポリスチレンフォーム	保温板 (2種 b)		保温板 (3種 b)	■ 硬質ウレタンフォーム		■ フェノールフォーム		■ ロックウール	保温板 ()	■ グラスウール
適用部位	種類																														
	■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種																														
	■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種																														
	■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種																														
	■ A種 ■ B種 ■ C種 ■ D種																														
種類	厚さ mm																														
■ ビーズ法ポリスチレンフォーム																															
■ 押し出し法ポリスチレンフォーム	保温板 (2種 b)																														
	保温板 (3種 b)																														
■ 硬質ウレタンフォーム																															
■ フェノールフォーム																															
■ ロックウール	保温板 ()																														
■ グラスウール	保温板 ()																														
■ セルローズファイバー																															
6	既存壁の撤去並びに下地補修 標仕6.2.1 ～6.2.2 標仕6.2.2(a)(1) 標仕6.2.2(a)(2) 標仕6.2.2(a)(2) 標仕6.2.2(c) 標仕6.3.1 ～6.3.2 標仕6.3.1 ～6.3.2 標仕6.4.1 ～6.4.2 標仕6.5.1 木材の含水率 標仕6.5.2(a)(2) 造作材の等級品質 標仕表6.5.3 代用樹種 標仕表6.5.4 造作用集材材等 標仕6.5.2(c) 床張り用合板等 標仕6.5.2(a) 特殊造作材 防蟻・防蟻処理 標仕6.5.5 鉄筋コンクリート造等の内部間仕切り及び床組 標仕6.5.6 標仕6.5.9 軽量鉄骨天井下地 標仕6.6.1 ～6.6.4 軽量鉄骨壁下地 標仕6.7.1 ～6.7.4 ビニル床シート、 標仕6.8.1 ビニル床タイル ～標仕6.8.4 及びゴム床タイル張り 標仕6.8.3(b)(3) カーペット敷き 標仕6.9.1 ～6.9.4 合成樹脂塗床 標仕6.10.1 ～6.10.4 フローリング張り 標仕6.11.1 ～6.11.3	7 塗装改修工事 各種塗料塗り 標仕7.4.1 ～ ■ 木 部 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ 鉄鋼面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ R A種 ■ R B種 ■ R C種) ◎ 石膏ボード面・その他ボード面 (■ R A種 ◎ R B種 ■ R C種) ■ 合成樹脂調合ペイント塗り (S O P) ■ 塗料の種類 (■ 1種 ■ 2種) ■ 木 部 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ クリヤラッカー塗り (C L) (■ A種 ■ B種) ■ フタル酸樹脂エナメル塗 (F E) ■ 木 部 ■ 鉄鋼面及び垂鉛めっき鋼面 ■ アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (N A D) ■ コンクリート面・モルタル面 (■ A種 ■ B種) ■ 耐候性塗料塗り (D P) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 上塗りの等級 (■ 1級 ■ 2級 ■ 3級) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 上塗りの等級 (■ 1級 ■ 2級 ■ 3級) ■ コンクリート面・押出成形セメント板面 (■ A-1種 ■ A-2種 ■ B-1種) (■ B-2種 ■ C-1種 ■ C-2種) ■ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P - G) ■ コンクリート面・モルタル面 プラスター面・石膏ボード面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ その他ボード面 ■ 木 部 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 鉄鋼面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ 垂鉛めっき面 (■ A種 ■ B種 ■ C種) ◎ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (E P) (■ A種 ◎ B種 ■ C種) ■ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (E P - T) (■ A種 ■ B種 ■ C種) ■ ウレタン樹脂ワニス塗り (U C) (■ A種 ■ B種) ■ ラッカーエナメル塗り (L E) (■ A種 ■ B種) ■ オイルステイン塗り (O S) ■ 木材保護塗料塗り (W P) ■ マスチック塗料塗り (■ A種 ■ B種)	9 環境配慮改修工事 路 盤 透水性アスファルト舗装 コンクリート舗装																												
8	内装改修工事	鉄筋 標仕8.2.1 溶接金網 標仕8.2.2 鉄筋の継手 標仕8.3.4 標仕8.3.8 標仕8.4.2 標仕8.4.3 鉄筋の定着 標仕8.3.4 ガス圧接 標仕8.3.8 レディーミクストコンクリート製造工場選定	8 耐震改修工事 鉄筋 標仕8.2.1 ■ 鉄筋材料 ◎ J I S G 3 1 1 2 ■ S R 2 3 5 ■ S R 2 9 5 ■ S D 2 9 5 A ■ S D 2 9 5 B ■ S D 3 4 5 ■ S D 3 9 0 材 料 ◎ J I S G 3 5 5 1 ■ 径 () φ ■ 網目の寸法 () ■ 網目の形状 () 継手の方法 ■ 重ね継手 ■ 柱・梁の主筋、耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ: 標仕表8.3.2から40d ■ 構造図特記 ■ ガス圧接継手 (種類 径 mm以上) ■ 機械式継手 (種類 径 mm以上) ■ 溶接継手 (種類 径 mm以下) ■ 柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の定着長さ ■ 上記以外の鉄筋の定着長さ: ■ 標仕表8.3.4適用 ■ 構造図特記 ◎ 圧接作業における技能資格者は、工事に相応した J I S Z 3 8 8 1 による技量を有するものとし ガス圧接技能資格者証を提示すること。 ◎ 圧接完了後の試験 試験方法 ■ 超音波探傷試験 (圧接箇所全数) ■ 引張試験 (公共建築工事標準仕様書 5.4.9(2)(H)による) ◎ コンクリート製造工場の選定にあたって、全国品質管理監査会議の策定した統一基準に基づく監査に合格した工場とする。それ以外を選定する場合は受注者による臨場、確認等(製造関係)①品質に携わる技術者の資格の確認(常駐の確認)②品質管理責任者の配置の確認③コンクリートの圧縮強度の管理体制の確認④配合への臨場(試験練時)⑤単位水量にかかる日常管理に関する事項の確認、施工関係⑥有資格者等の臨場⑦打設状況報告書の作成等)にかかる事項を監督職員は確認する。																												

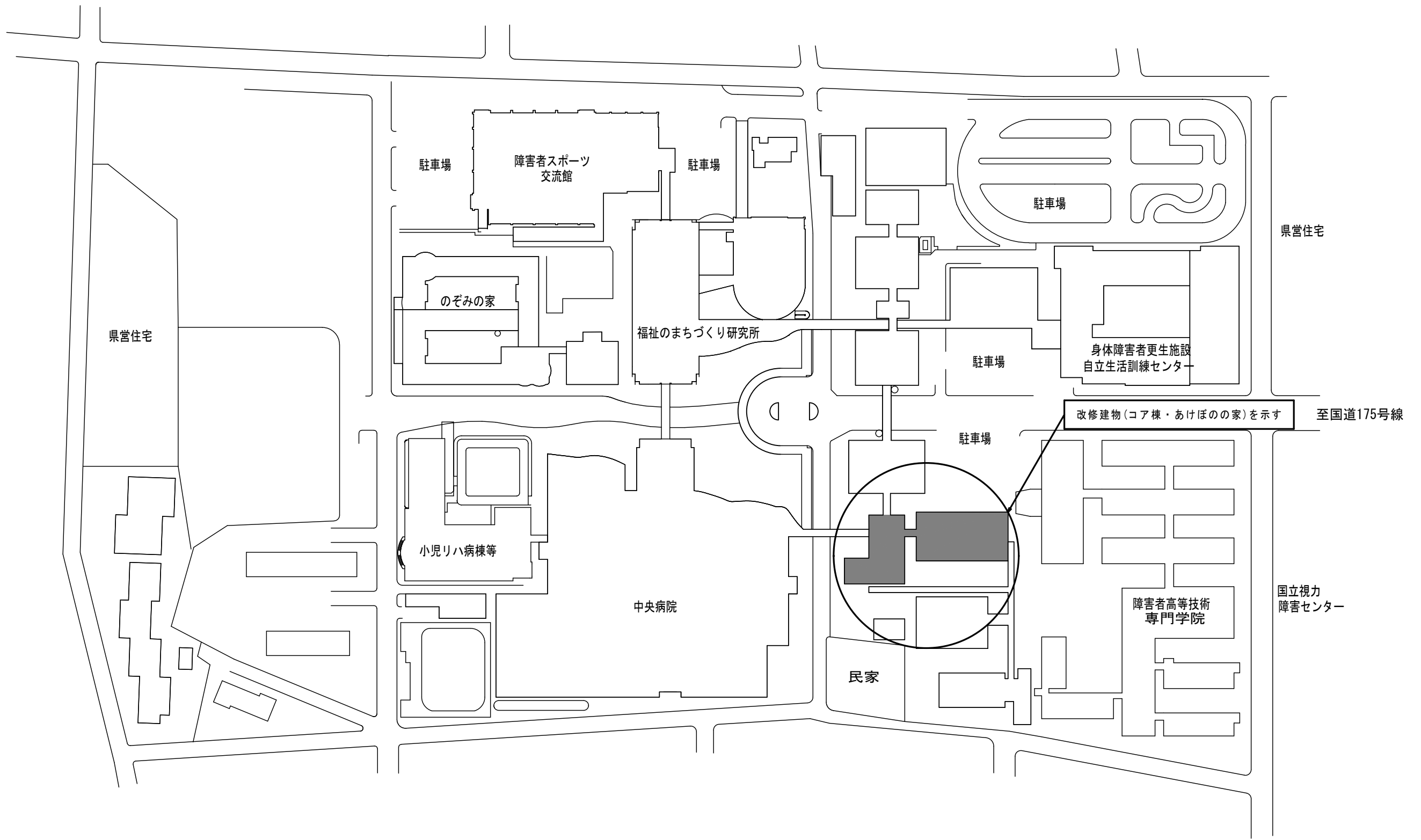
特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	No.
		6年11月 日	年 月 日	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	A
		一級建築士 嶋本 浩史	検	特記仕様書(2)	03
		一級建築士 大臣 登録 第243356号	図	縮尺 non	整理番号



附近見取図 1/2500



特記事項 工事施工場所：神戸市西区曙町1070（あけぼのの家）	設計	設計年月日 6年11月 日	訂正年月日 年 月 日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 04
				図名	附近見取図	
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検 図	縮尺	1/2500	整理番号
		一級建築士 大臣登録 第243356号				



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No.
		6年11月 日	年 月 日		あけぼのの家空調改修工事設計図	
	AS 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検	図	図名	配置図	05
					縮尺	1/1000



解体駐輪場立面図 1/200

改修前1階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図 改修前1階平面図	No. A / 06
		6年11月 日	年 月 日	図名		
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			縮尺	1/200	整理番号



評価作業棟

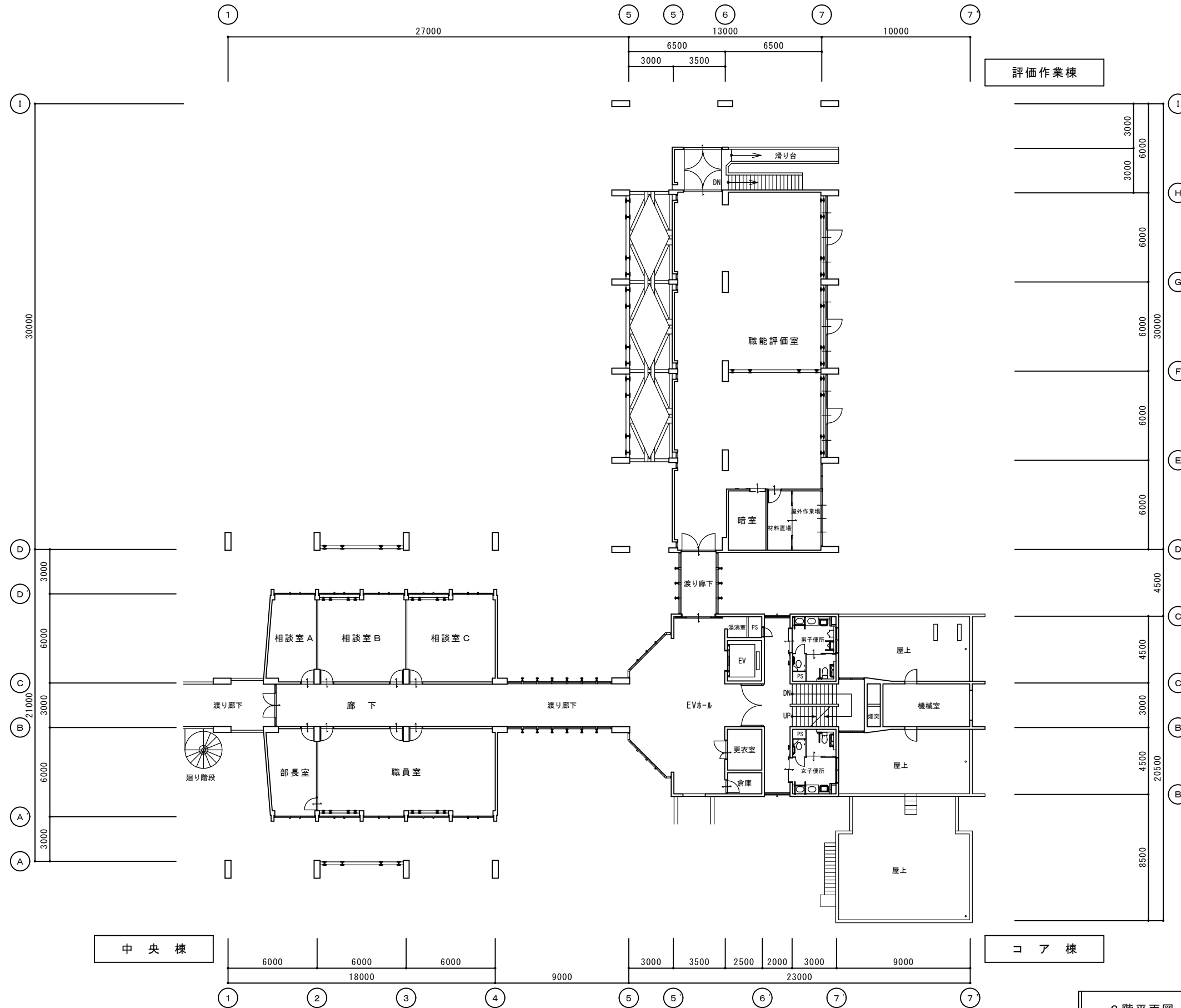
中央棟

コア棟

改修範囲を示す

1階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No. A
		6年11月 日	年 月 日		あけぼのの家空調改修工事設計図	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検	図名	1階平面図	07	整理番号
		図	縮尺	1/200		

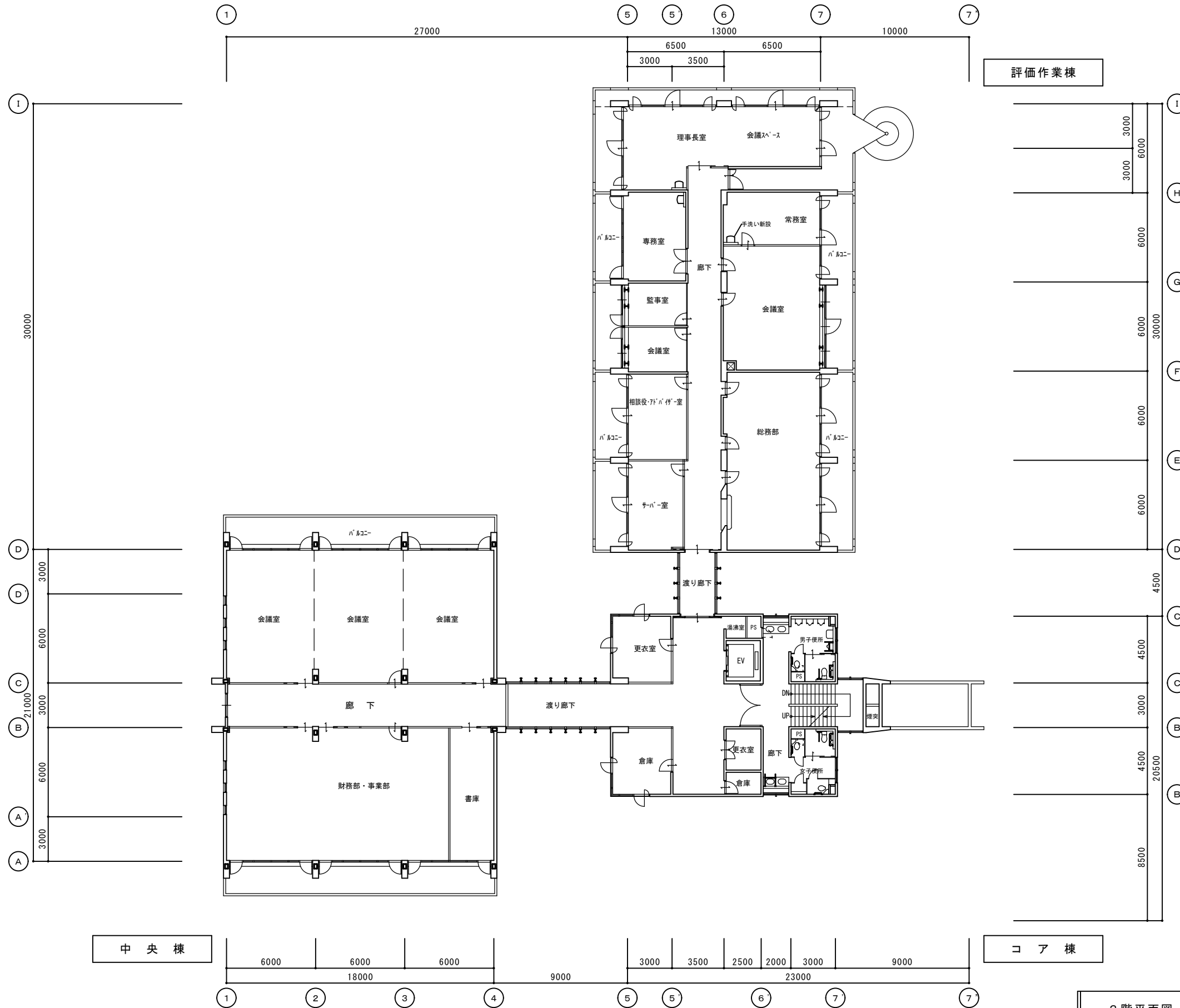


2階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日
		6年11月 日	年 月 日
	AS 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号		

名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図
図名	2階平面図
縮尺	1/200

No.	A
	08
整理番号	

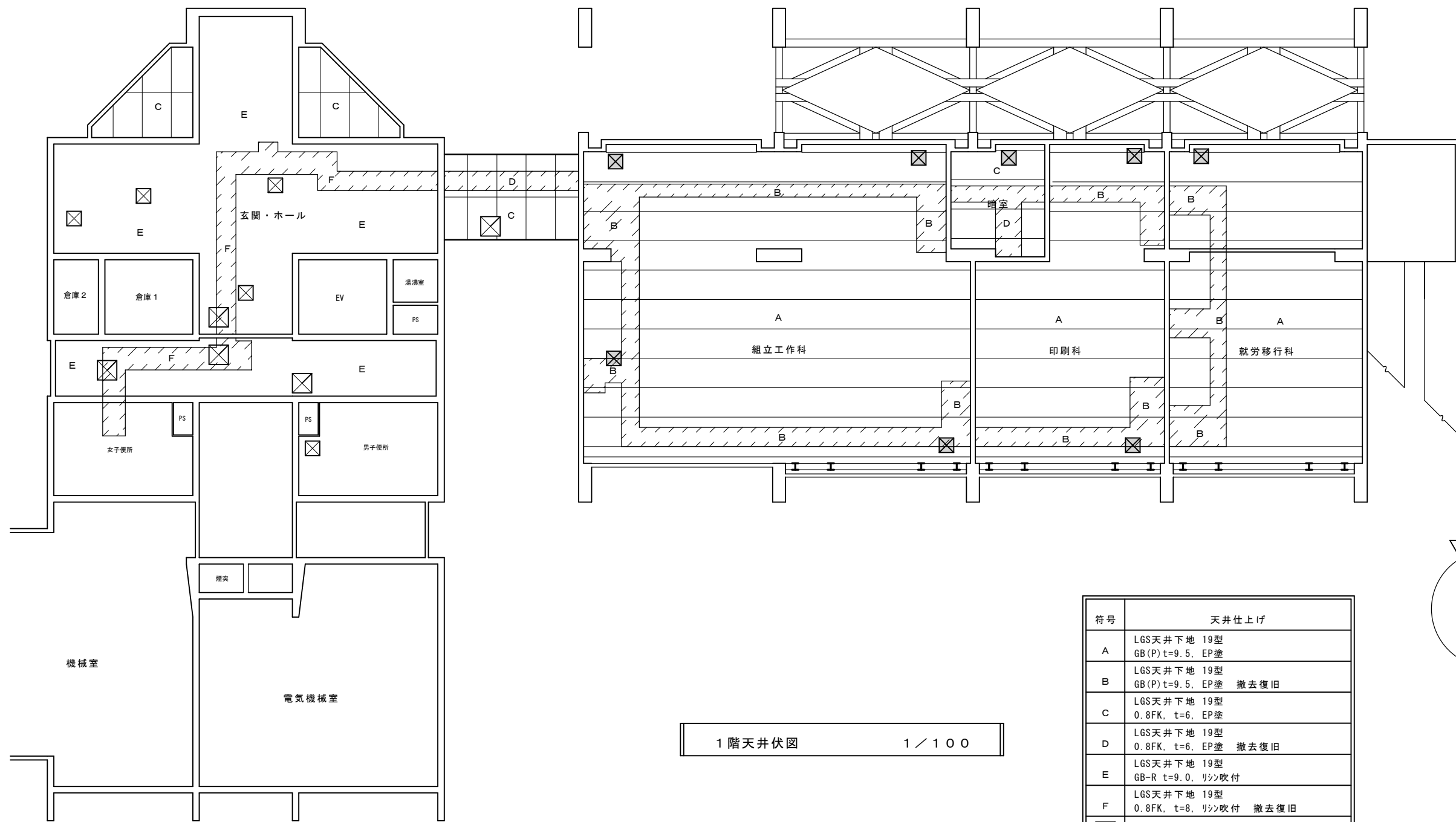


3階平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日
		6年11月 日	年 月 日

嶋本一級建築士事務所
 一級建築士 嶋本 浩史
 一級建築士 大臣登録 第243356号

名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No.	A
図名	3階平面図		09
縮尺	1/200	整理番号	



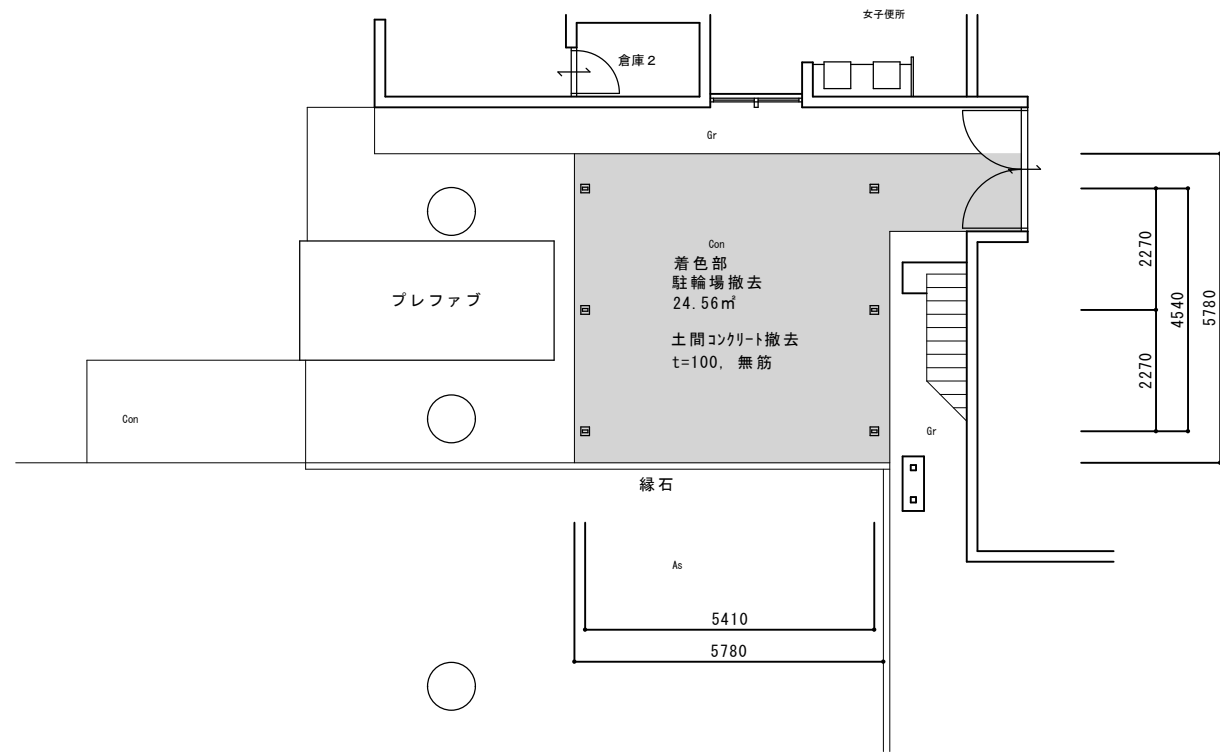
1階天井伏図 1/100

符号	天井仕上げ
A	LGS天井下地 19型 GB(P) t=9.5, EP塗
B	LGS天井下地 19型 GB(P) t=9.5, EP塗 撤去復旧
C	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=6, EP塗
D	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=6, EP塗 撤去復旧
E	LGS天井下地 19型 GB-R t=9.0, リン吹付
F	LGS天井下地 19型 0.8FK, t=8, リン吹付 撤去復旧
☒	既設7㍉製点検口 600x600
☒	既設7㍉製点検口 450x450
☒	新設7㍉製点検口 450x450
	天井仕上材撤去復旧部を示す 現地調査の上必用最低限の撤去とする

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. A 10 整理番号
		6年11月 日	年 月 日	図名	1階天井伏図	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			縮尺	1/100	

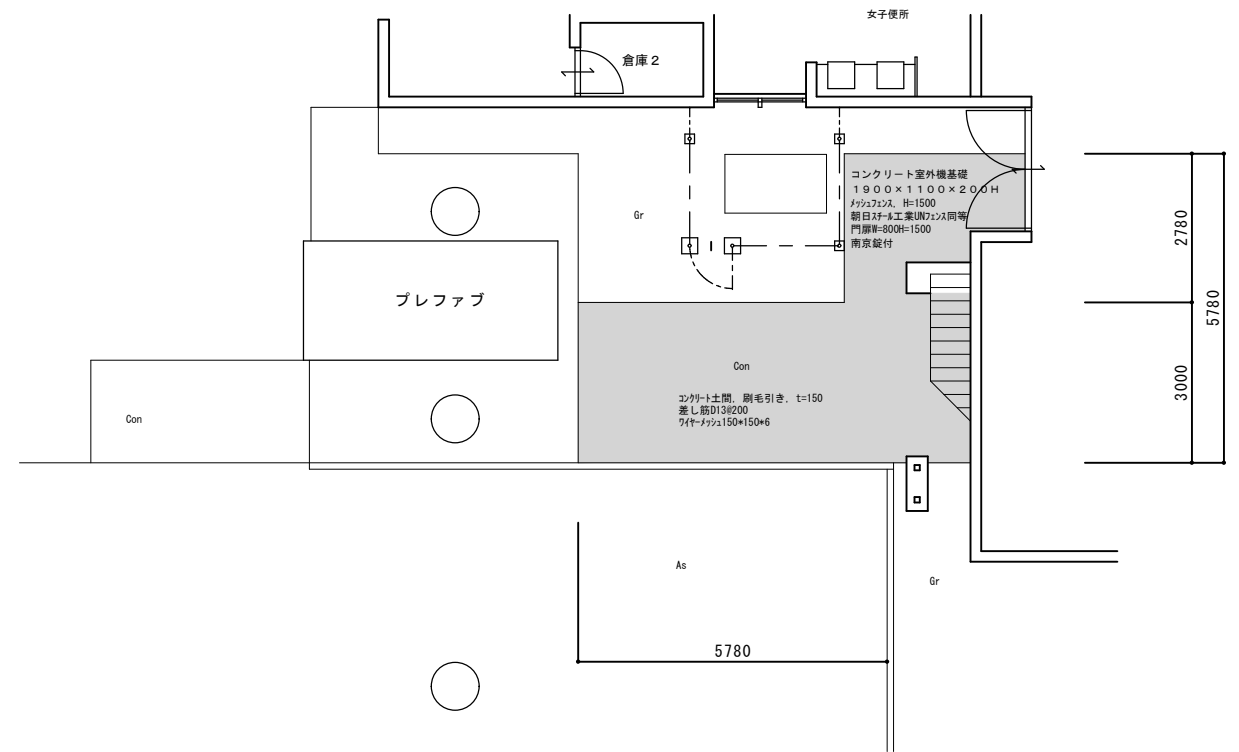
改修前室外機基礎廻り平面図

1/100



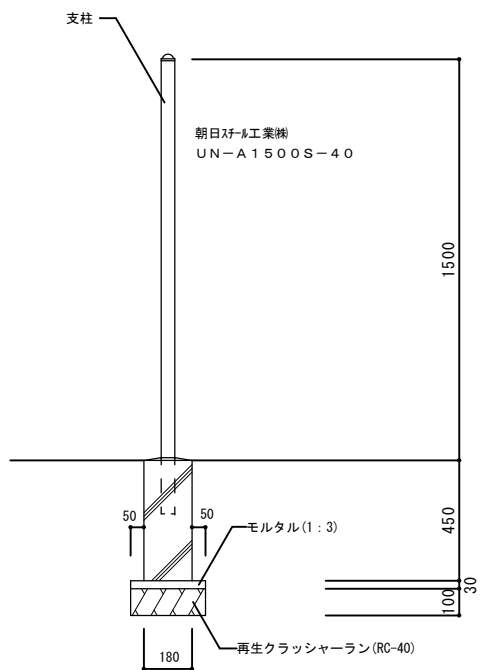
改修後室外機基礎廻り平面図

1/100



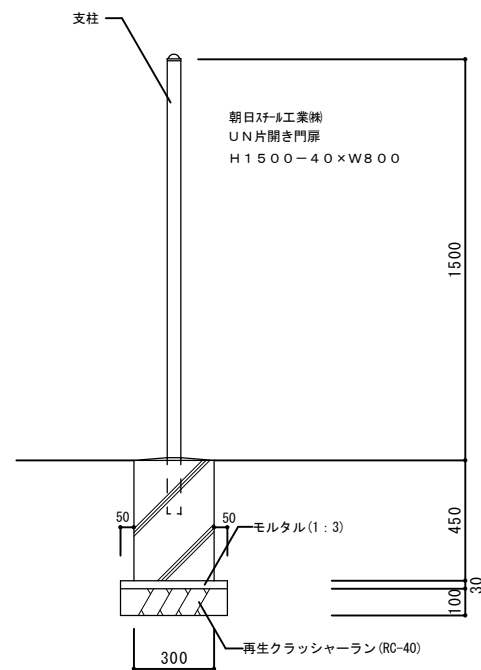
フェンス基礎構造図

1/20



フェンス門扉基礎構造図

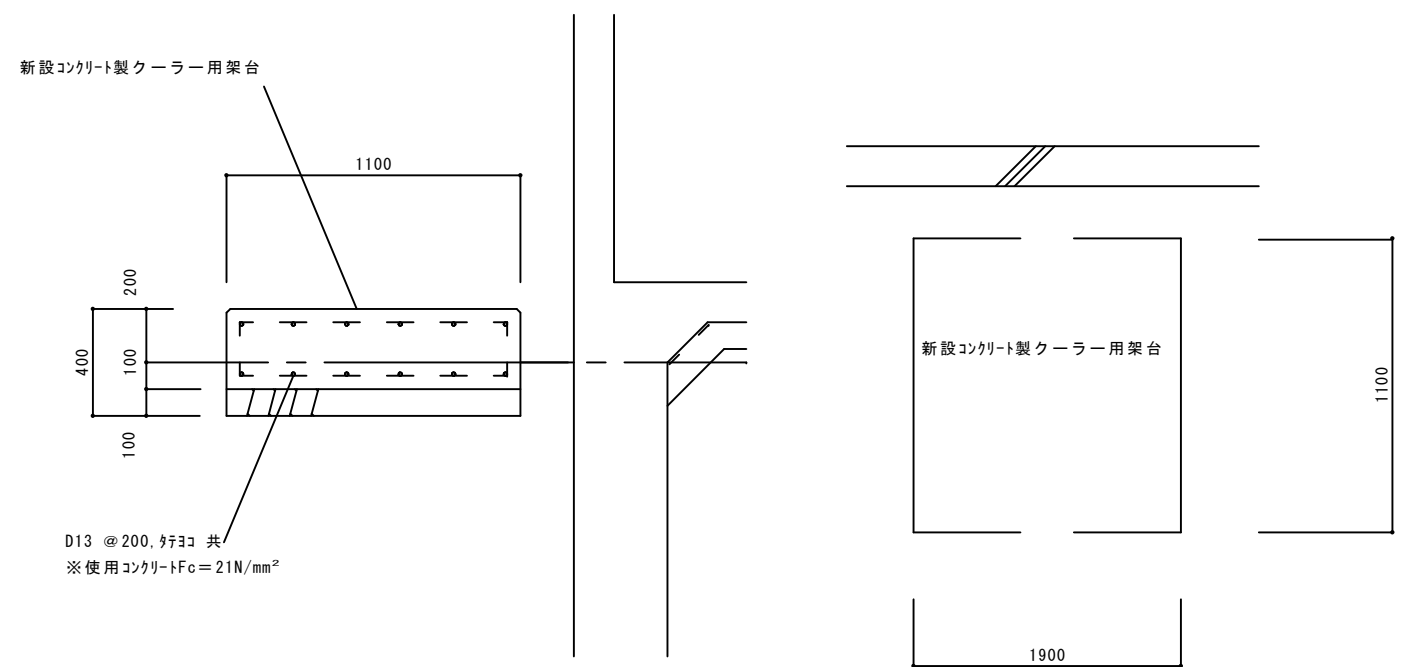
1/20



室外機基礎構造図

1/20

新設コンクリート製クーラー用架台



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日
		6年11月 日	年 月 日
	一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号		

AS 嶋本一級建築士事務所

名称	県立総合リハビリテーションセンター
図名	あけほの家空調改修工事設計図 雑詳細図(別途工事参考図)
縮尺	1/20, 1/100

No.	A
整理番号	11

特記仕様書			
工事名称	能力開発施設冷暖房設備第1期改修工事		
工事場所	神戸市西区環町1070		
工事期間	年 月 日 ~ 年 月 日 主体工事の準ずる		
	敷地面積	m ²	延面積
	地下	階	地上
	構造	R C	鉄骨 木造
工事種目	●印を適用する。		
	<input type="radio"/> 高圧受電 設備工事		● 本工事
	<input type="radio"/> 低圧幹線 設備工事		
	<input checked="" type="radio"/> 動力 設備工事		●
	<input type="radio"/> 電灯コンセント設備工事		
	<input type="radio"/> 電話(有線) 設備工事		
	<input type="radio"/> 情報 設備工事		
	<input type="radio"/> 放送 設備工事		
	<input type="radio"/> ナースコール 設備工事		
	<input type="radio"/> 呼出表示 設備工事		
	<input type="radio"/> 7ch共同聴視 設備工事		
	<input type="radio"/> 電気時計 設備工事		
	<input type="radio"/> 自動火災報知 設備工事		
	<input type="radio"/> 誘導灯 設備工事		
	<input type="radio"/> 非常警報 設備工事		
	<input type="radio"/> 自動閉鎖装置 設備工事		
	<input type="radio"/> 非常用発電機 設備工事		
	<input type="radio"/> 避雷針 設備工事		
	<input type="radio"/> 防災、防犯 設備工事		
	<input type="radio"/> 屋外灯 設備工事		
	<input type="radio"/> 太陽光発電 設備工事		
総則	●印を適用する。		
1. 適用	● 本工事は、特記仕様書・設計図 電気設備技術基準・電力会社内線規定・消防法等、建築基準法、及び、 ● 社団法人 日本建築家協会監修建築設備工事共通仕様書による。 国土交通大臣官庁官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書(最新版) 同様準拠(最新版)による。 (盤、キュービクル等機器はメーカー標準仕様とする。)		
2. 優先順位	● 設計図書の優先順位は下記による。 (1) 現場説明書、質疑応答書 (2) 特記仕様書 (3) 設計図 (4) 共通仕様書 (5) 上記いずれも記載なき場合、不明の場合は係員指示による。		
3. 法令・条例等	● 本工事施工に先立ち事前に所轄官公庁及び関係先へ充分な打ち合わせの上、工事に着手すること。尚、これに要する申請及び手続きはその費用を含め請負者にて行うこと。		
4. 疑義	● 設計図書に疑義を生じた場合は係員と協議の上、その指示による。		
5. 軽微な変更	● 工事の施工に際し、現場の納まり又は取合上器具の取付位置・取付工法などの軽微な変更は係員の指示によって行う。この場合請負金額は増減しない。		
6. 工程、施工図	● 本工事施工に先立ち、建築、給排水等、他工事との取合いについて充分打ち合わせの上、工程表及び施工図を遅延なく作成し、係員の承認をうけた後着手する。		
7. 機器及び材料	● 工場製作による機器類及び加工材遅延なく製作図を提出し、係員の承認をうけた後製作加工に着手すること。これらの機器類及び加工材は工場検査を受けた後、現場搬入する。尚、市販品等については、見本品又はカタログ等を提出し係員の承認を受ける。		
8. 工事写真	● 工事写真はカラーサービス版とし撮影日時場所を明記の上アルバムにて提出すること。 ● 撮影箇所は地中埋設部、隠蔽部、機器据え付け施工中その他係員が指示する箇所とする。 ● 工事の施工に際して係員立ち会いのもとに、各種試験検査を行い関係諸官庁の立ち会いの検査合格を似って完了とする。		
10. 竣工時提出書類	● 本工事引渡しに際し速かに下記書類を提出する。 (1) 工事引渡書 (2) 竣工図 (3) 竣工写真 (4) 施工図(二つ折製本) (5) 申請書・検査合格書及び保証書 (6) 試運転成績表 (7) 機器完成図・試験成績表・取扱説明書を含む。部数及び形式は指示による。		
11. その他	既設電気設備撤去の際 必要残存設備への電源供給(仮設を含む)等は本工事とする 本工事は改修工事であり、設計図と現況が異なる事や、解体撤去時に、予想外の事態が発生する可能性があるが、その場合は速やかに関係者と協議を行う。 又、上記により変更が生じた場合や、納まりによる軽微な変更が生じた場合でも、請負金額の増減は行わない		

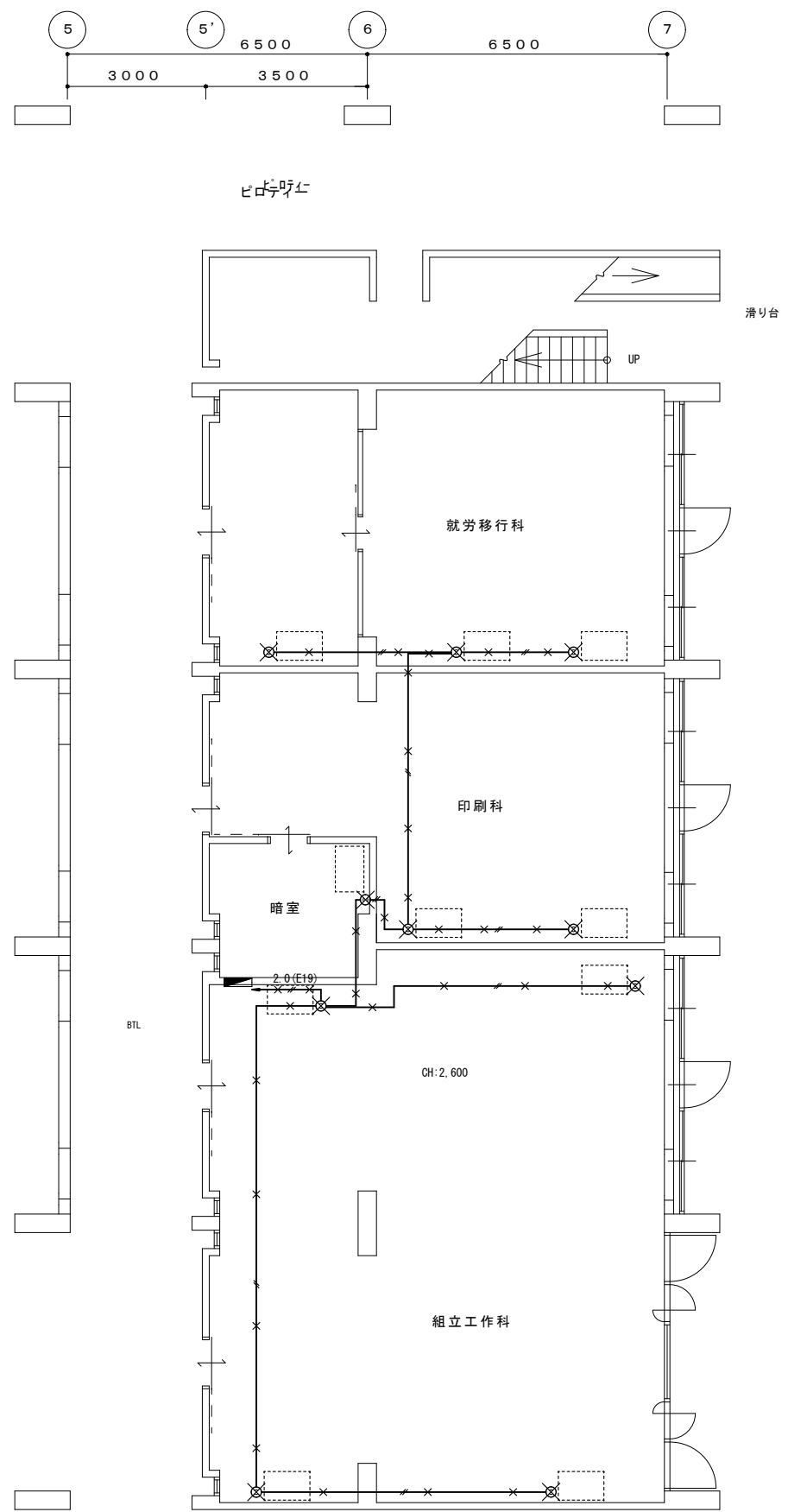
補足事項			
● 1 建築基準法・消防法等で必要なのは設計図記載なきも、請負業者の責任にて施工のこと。			
● 2 接地工事は、設計図に明記なきも本工事にて行うこと。			
一般共通事項			
1. 電線	● 特記なき電線・ケーブルは 600V 1V電線とし、色別表示を行うこと。		
2. 電線管	● 特記なき電線管は、下記を原則とする。 ● 屋外配管 ● CP (厚鋼) SUS (厚鋼) HIVE 難燃性 FEP PE ● 屋内配管 CP (薄鋼) ● EP (ねじ無し) PF管使用 可 不可		
3. 呼び線	● 長さ1m以上の空配管には、1. 2mm以上のビニール被覆燃線を入れし、行先表示を施すこと。		
4. 配線器具	特記なき配線器具・プレートは、下記を原則とする。 配線器具 大角連用型 ワイド型 プレート 新金属 ステンレス 樹脂製		
5. コンクリート	基礎及び、ハドネキ等に使用するコンクリート強度は、180kgf 以上とする。		
6. 塗装	● 露出配管には塗装を施す。(指定色OP2回塗り) 壁の塗装色 指定色 ● メーカー標準色		
7. 防火区画	● 防火区画の貫通部は、耐火処理を施すこと。		
8. 再使用	● 取り外し器具・機器で、再使用するものは、清掃・絶縁測定の上、取り付けること。		
工事区分 ○印を適用する。			
工事項目	建築工事	電気工事	機械工事
・電力引込負担金			
・太陽光全量買取引込負担金			
・電力会社・N干干柱移設・撤去負担金			
・電波障害調査費			
・電波障害対策費			
・R-C躯体貫通用-引-及び箱入			
・同上施工後の鉄筋補強			
・天井埋込器具の切込下地補強			
・天井埋込器具の墨出し			
・キュービクルの基礎			
・自立鋼のコンクリート基礎			
・埋込み型鋼の仮枠			
・ガス漏れ警報器			
・消火器			
・IPの1次側電気工事		○	
・IPの2次側電気工事 (P-2共)			○
・IPのP/E/F/F取付			○
・同上用電気配線工事			
・同上用電線管工事			
・給湯器用操作線及びP/E/F取付工事			
・同上用電線管工事			
・換気扇、天井扇等の取付工事			
・同上スイッチ(取付含む)の取付工事			
接地種の種類記号 接地抵抗値 接地種			
A種接地	EA	10Ω以下	銅板式(900×900×1.5t)
B種接地	EB	Ω以下	銅板式(500×500×1.5t)
D種接地	ED	100Ω以下	EB(10φ)×1(L=1500mm)
C種接地	EC	Ω以下	銅板式(500×250×1.5t)
高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組
交換機用	Et	Ω以下	EB(14φ)×3連-1組
通信用	EAt	10Ω以下	EB(14φ)×3連-2組
通信用	EDt	100Ω以下	EB(10φ)×1(L=1500mm)
測定用	EO		EB(10φ)×1(L=1000mm)

工事概要		●印を適用する。
● 動力設備工事	● 電気室既設動力低圧盤に配線用遮断機を設置し手元開閉器を経て GHP 室外機に至る配管配線・機器取付工事とする	
	● 既設電灯盤ファンコイル回路用配線用遮断器を漏電遮断器(ELCB2P50AF20AT200V)に取替より 室内機電源に至る配管配線・機器取付工事とする	
	既設ファンコイル用配管配線の撤去も本工事を含む	

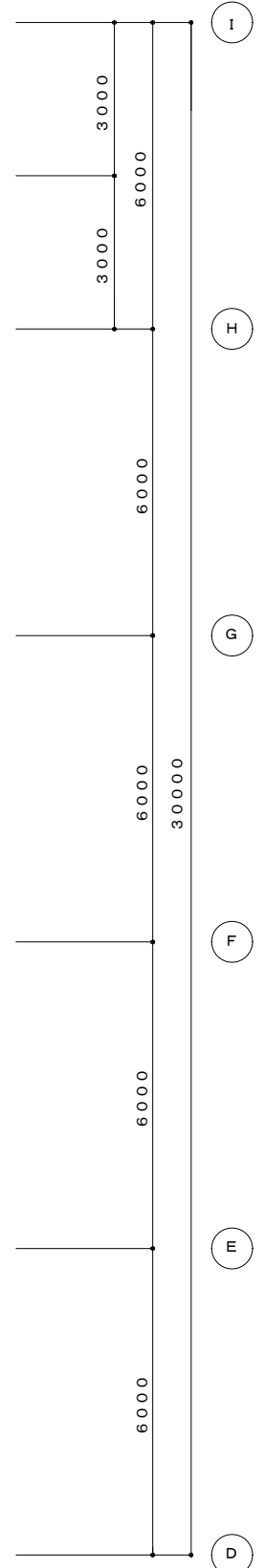
使用資材		○印を適用する。	
本工事に使用する機器・資材で、下記メーカー以外の使用については、変更要請書を係員に提出し、同等品と認められた場合に限り、その機器・資材を使用することができる。			
電線ケーブル	JCSマーク表示許可工場の製品		
特殊電線ケーブル	同上		
金属電線管	JISマーク表示品		
同上付属品	同上		
硬質ビニル管	同上		
同上付属品	同上		
キュービクル	河村電器 日東工業 大日 日満 内外		
配分電盤類	パナソニック 東芝 大日 日満 内外 日東工業 河村電器 テンパール工業		
配線器具	パナソニック 東芝 神保		
● 照明器具	パナソニック 東芝 三菱 岩崎 小泉		
換気扇	パナソニック 東芝 三菱 日立		
電話機	岩通 パナソニック 東芝 三菱 NEC NTT		
放送機器	パナソニック TOA 東芝 JVCケンウッド		
インターホン	パナソニック 東芝 アイホン		
ナースコール	東芝 ケアコム アイホン		
テレビ共聴機器	DX パナソニック ハ木 マスプロ		
電気時計	パナソニック セイコー TICシチズン		
自動火災報知器	ホーチキ 能美 パナソニック ニッタン		
自動閉鎖設備	同上		
非常警報	同上		
● 自家発電機	ヤンマーディーゼル		
避雷針	日本 大阪 四興 大省		
高圧気中開閉器	戸上 大垣 三菱 高松		
トランス	東芝 三菱 日立 ダイヘン		
コンデンサー	東芝 指月 日本コンデンサー		
セキュリティ	パナソニック 東芝 アイホン		
電気錠	日本電子工業株式会社 美和ロック㈱ アート(株) (株)ゴール		
太陽光発電	パナソニック 京セラ シャープ 東芝 三菱		
111 機器取付高さ			
機器の取付高さは図示のほか下記を標準とする。			
電力共通	名 称	測 定	取 付 高(mm)
電	取 引 用 計 器	地上～窓中心	1,800~2,000
	引 込 開 閉 器	床 上 ～ 中 心	1,800
	分 配 器 箱	床 上 ～ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	ス ン ド	〃	1,300
	コ ン セ ン ト (一 般)	〃	300
	〃 (和 室)	〃	200
	〃 (仕 庫)	台 上 ～ 中 心	600~1,300
	プ ラ ゲ ッ ト (一 般)	床 上 ～ 中 心	2,100~2,500
	〃 (備 置)	〃	2,500
	〃 (備 上)	備 上 端 ～ 中 心	150
灯	壁 掛 形 制 御 盤	床 上 ～ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	開 閉 器 窓 操 作 ス イ ッ チ	〃	1,300
電 話	端 子 盤	床 上 ～ 下 端	500
	保 安 器 箱	床 上 ～ 中 心	2,000
	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (和 室)	〃	300
時 計 ・ 報 警	壁 掛 形 報 時 計	床 上 ～ 中 心	1,500(上層1,900以下)
	子 時 計	〃	2,300
	壁 掛 形 ス ピ ー カ ー	〃	2,300
	ア ッ チ テ ー マ ー	〃	1,300
表 示	表 示 盤	〃	2,300
	壁 付 装 置 機	〃	1,300
	パ ー ル ・ フ ァ ー ・ チ ャ イ ン	〃	2,300
イ ン タ ー ホ ン	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス (和 室)	〃	200
	壁 付 イ ン タ ー ホ ン	床 上 ～ 中 心	1,300
	〃	〃	1,300
	〃	〃	200
テ レ ビ 共 同 受 信	分 配 器 箱	床 上 ～ 上 端	1,900
	テ レ ビ ア ウ ド レ ッ ト	床 上 ～ 中 心	300
	〃 (和 室)	床 上 ～ 中 心	200
火 災 報 知	収 容 箱	床 上 ～ 上 端	1,900
	受 信 機 ・ 制 受 信 機	床 上 ～ 中 心	1,500
	給 電 機	〃	1,300
	共 通 機 器	〃	1,300
示	壁 付 位 置 ボ ッ ク ス	〃	2,300
	壁 付 ボ ッ ク ス	〃	1,300
IV 図 示 記 号			
特記なき図示記号は、国土交通大臣官庁官庁営繕部監修「電気設備工事標準図」最新版による。			

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター	No.
		6年11月 日	年 月 日		あけぼのの空空調改修工事設計図	
				図名	電気設備工事特記仕様書	E 1
				縮尺		
						整理番号

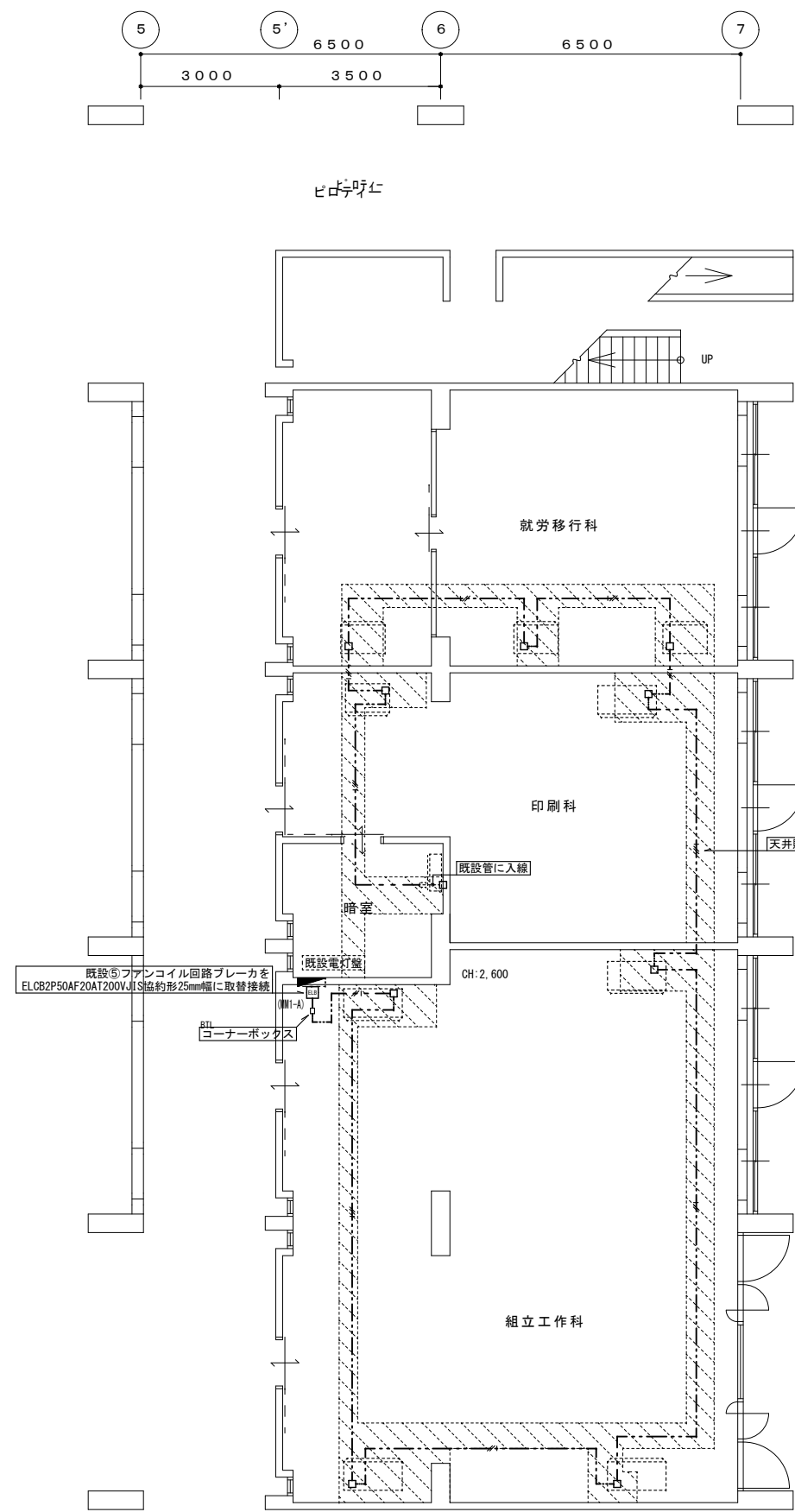

嶋本一級建築士事務所
 一級建築士 嶋本 浩史 検
 一級建築士 大日 登録 第243356号 図



1階平面図 (改修前撤去図) 1/100
 特記なき配管配線は下記による
 ⅠV1.6×2(E19)
 図中×印は 撤去を示す



評価作業棟



1階平面図 (改修後) 1/100
 特記なき配管配線は下記による
 EM-EFP2.0-3C(10-E) (コア付)



評価作業棟

特記事項	

設計	設計年月日	訂正年月日
	6年11月 日	年 月 日
設計者	検図	
一級建築士 嶋本 浩史		
一級建築士 大臣登録 第243356号		

名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図
図名	室内ユニット電源設備 1階平面図
縮尺	1/100

No.	E / 2
整理番号	

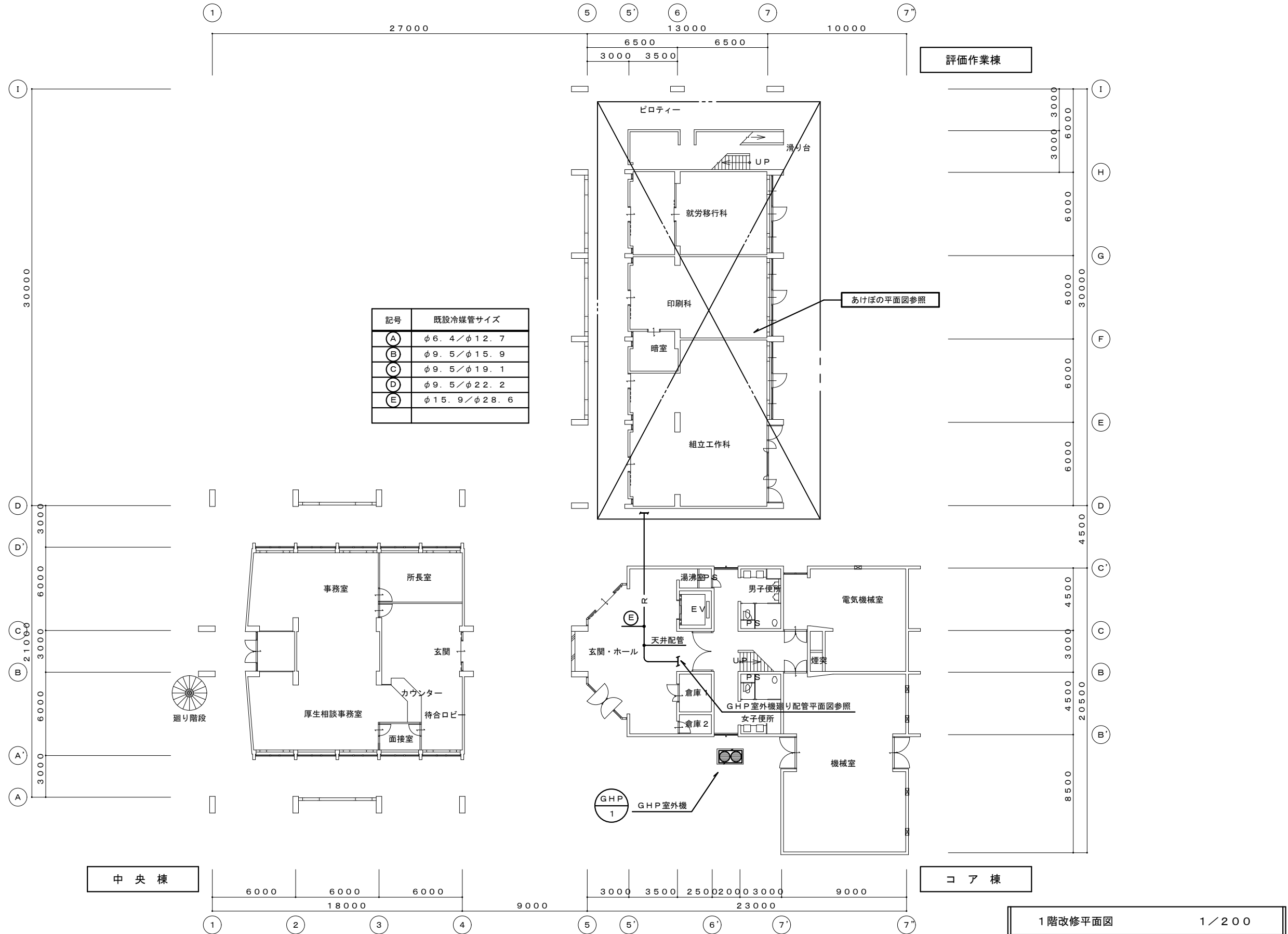
AS 嶋本一級建築士事務所


新設機器表

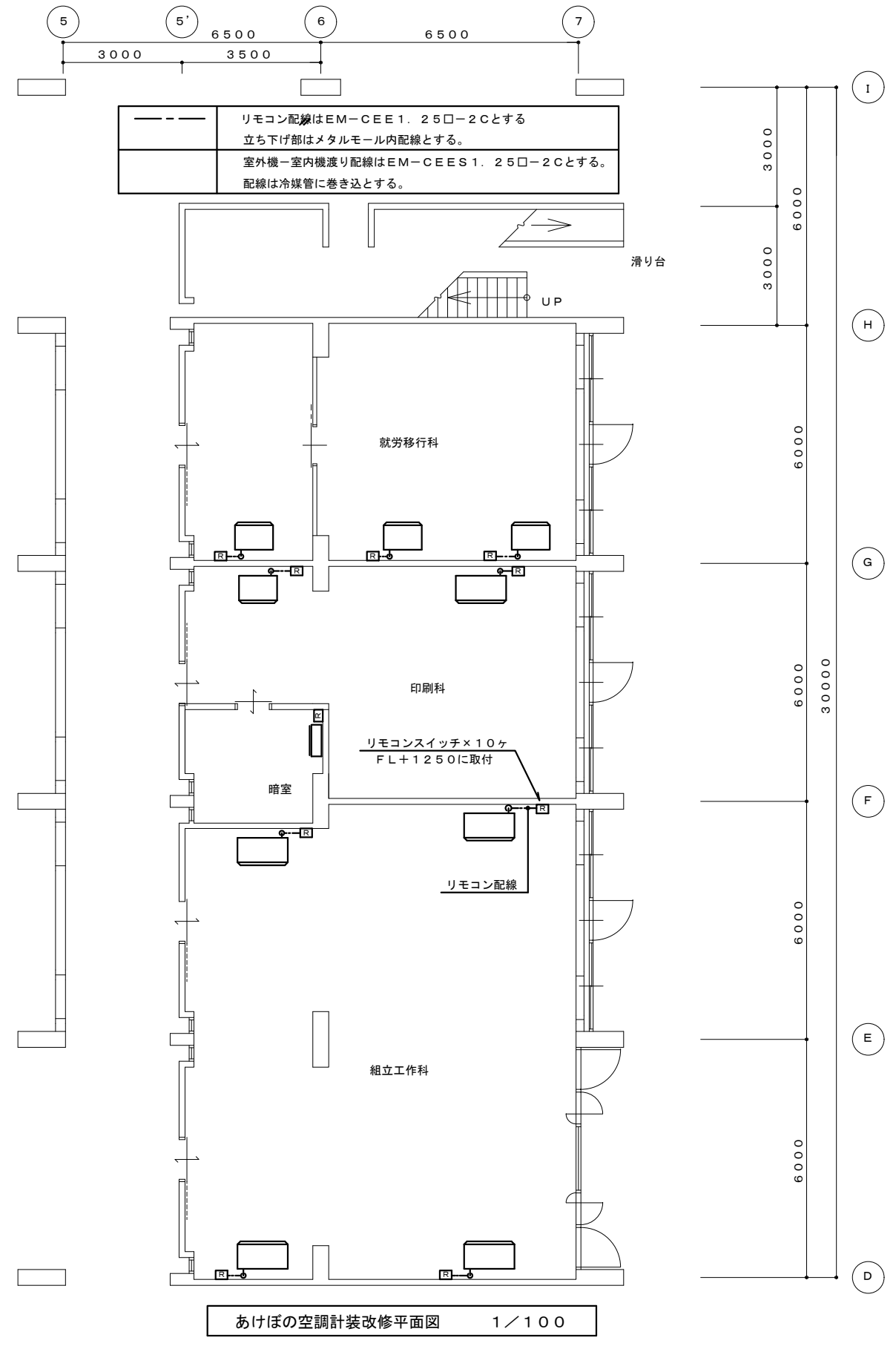
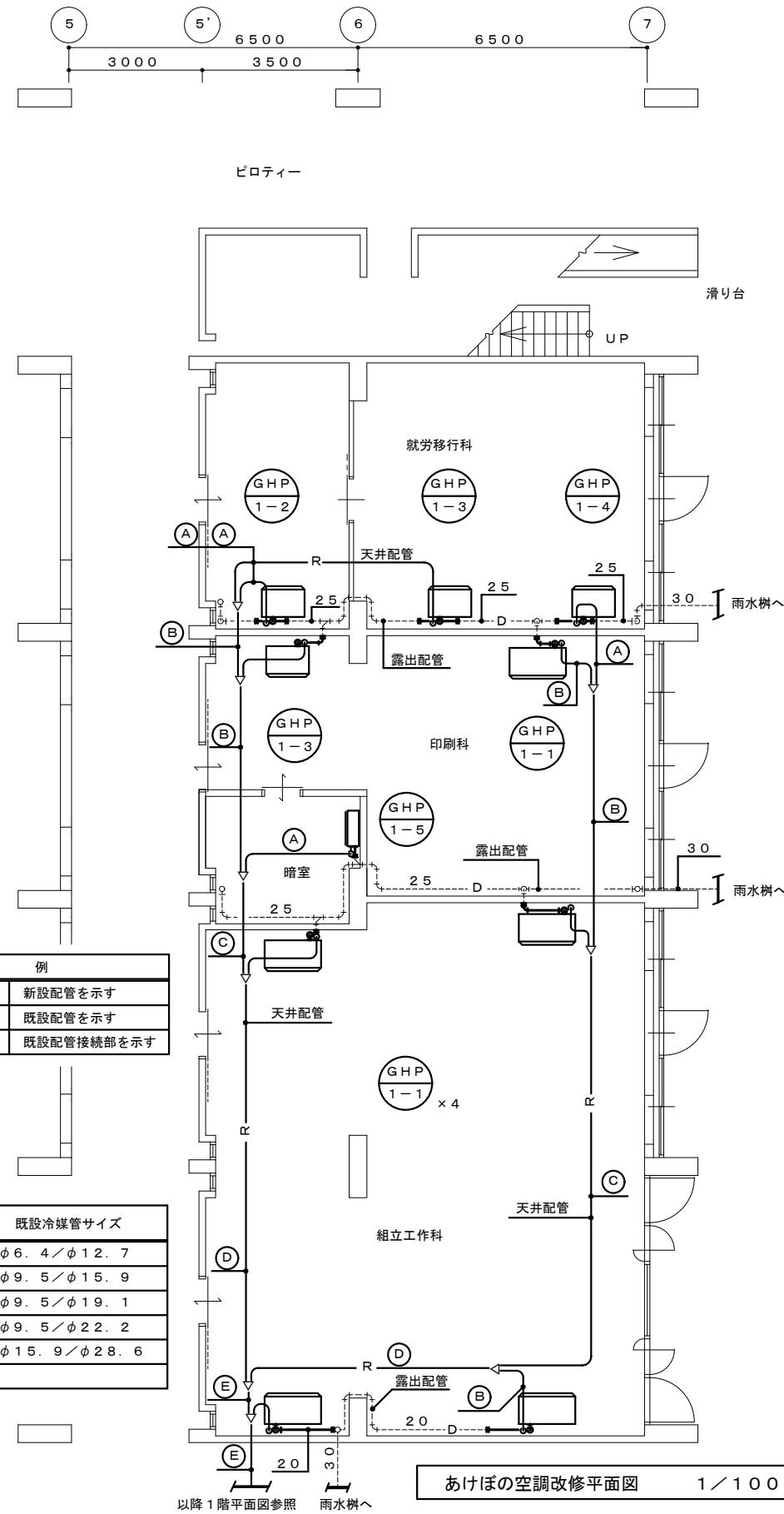
記号	名称	仕様	数量	備考
GHP 1	ガスヒートポンプエアコン (室外機)	20馬力相当	1	(参考品番アイシン AWGP560G1ZD)
		冷房能力 56.0kw 暖房能力 63.0kw		
		エンジン出力 12.4kw 送風機 0.36+0.42kw		
		消費電力 0.998kw 3φ 200V		
		ガス消費量 49.4kw 13A OS防振架台		
	耐塩害仕様 他附属品共			
GHP 1-1	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	5	(参考品番アイシン AXHP71NA)
		冷房能力 7.1kw 暖房能力 8.0kw		
		送風機 0.091kw 消費電力 0.112kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			印刷科室・縫製科室
GHP 1-2	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	1	(参考品番アイシン AXHP56NA)
		冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.3kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.109kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			金属工芸科室
GHP 1-3	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	2	(参考品番アイシン AXHP45NA)
		冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.107kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			金属工芸科室・印刷科室
GHP 1-4	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	天井吊形	1	(参考品番アイシン AXHP36NA)
		冷房能力 3.6kw 暖房能力 4.0kw		
		送風機 0.06kw 消費電力 0.107kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	エアフィルター 他附属品共			デザイン科室
GHP 1-5	ガスヒートポンプエアコン (室内機)	壁掛形	1	(参考品番アイシン AXAP28EB)
		冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.2kw		
		送風機 0.03kw 消費電力 0.034kw		
		1φ 200V ワイヤードリモコン		
	ドレンUP機能 他附属品共			暗室

撤去機器表

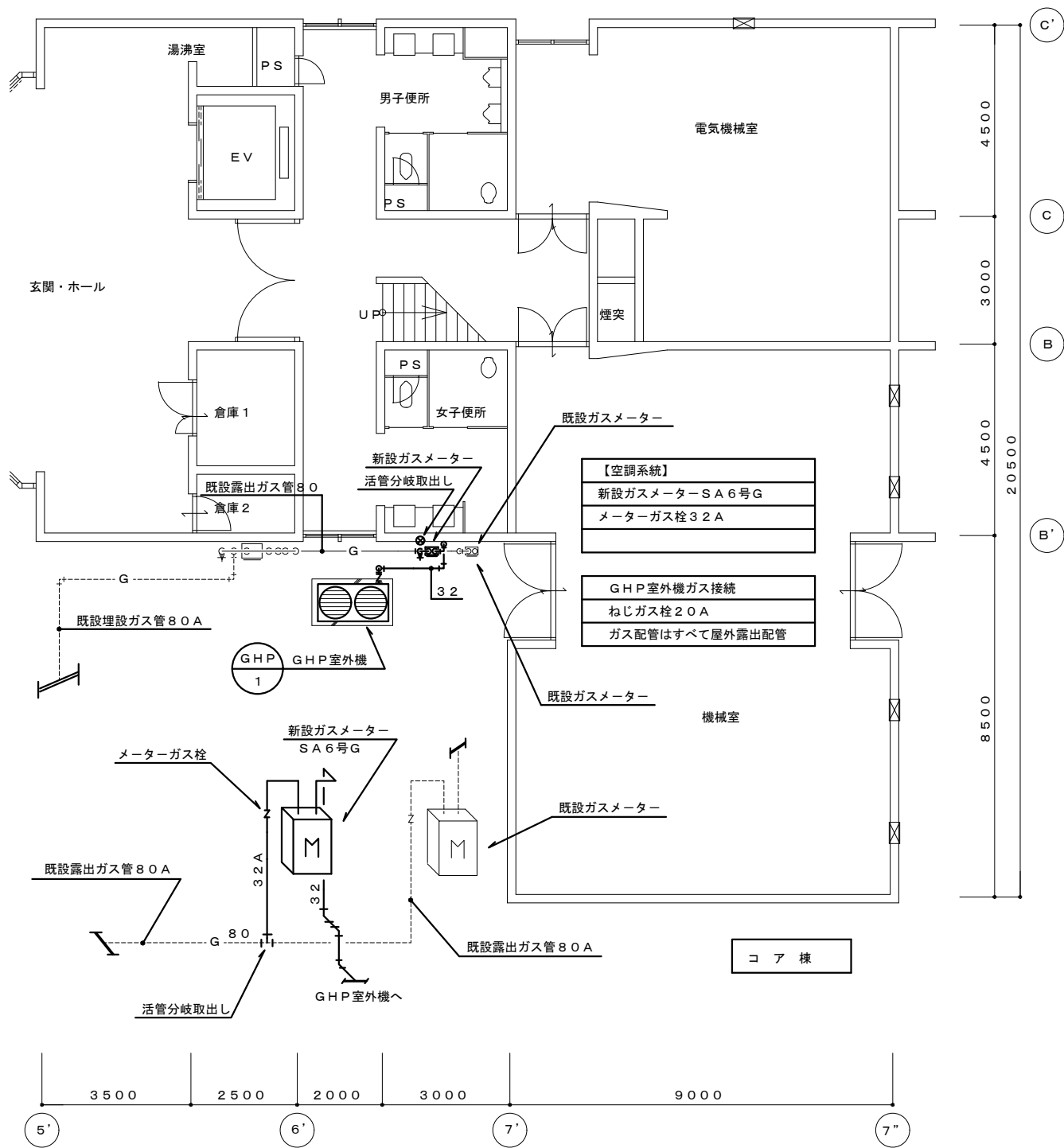
記号	名称	仕様	数量	備考
FC 1	ファンコイルユニット	天井吊露出型	5	デザイン科室・縫製科室
		放熱量 3650kcal/h		
		40W 1φ 100V		
		コントローラー 他附属品共		
FC 2	ファンコイルユニット	天井吊露出型	4	金属工芸科室・印刷科室
		放熱量 2810kcal/h		
		35W 1φ 100V		
		コントローラー 他附属品共		
AC 1	ヒートポンプエアコン	壁掛形	1	暗室
		冷房能力 2.2kw 暖房能力 2.5kw		
		圧縮機 600w 消費電力 440w		
		1φ 100V リモコン 室外機		
	他附属品共			R32冷媒 0.47kg回収・破壊処理含む。



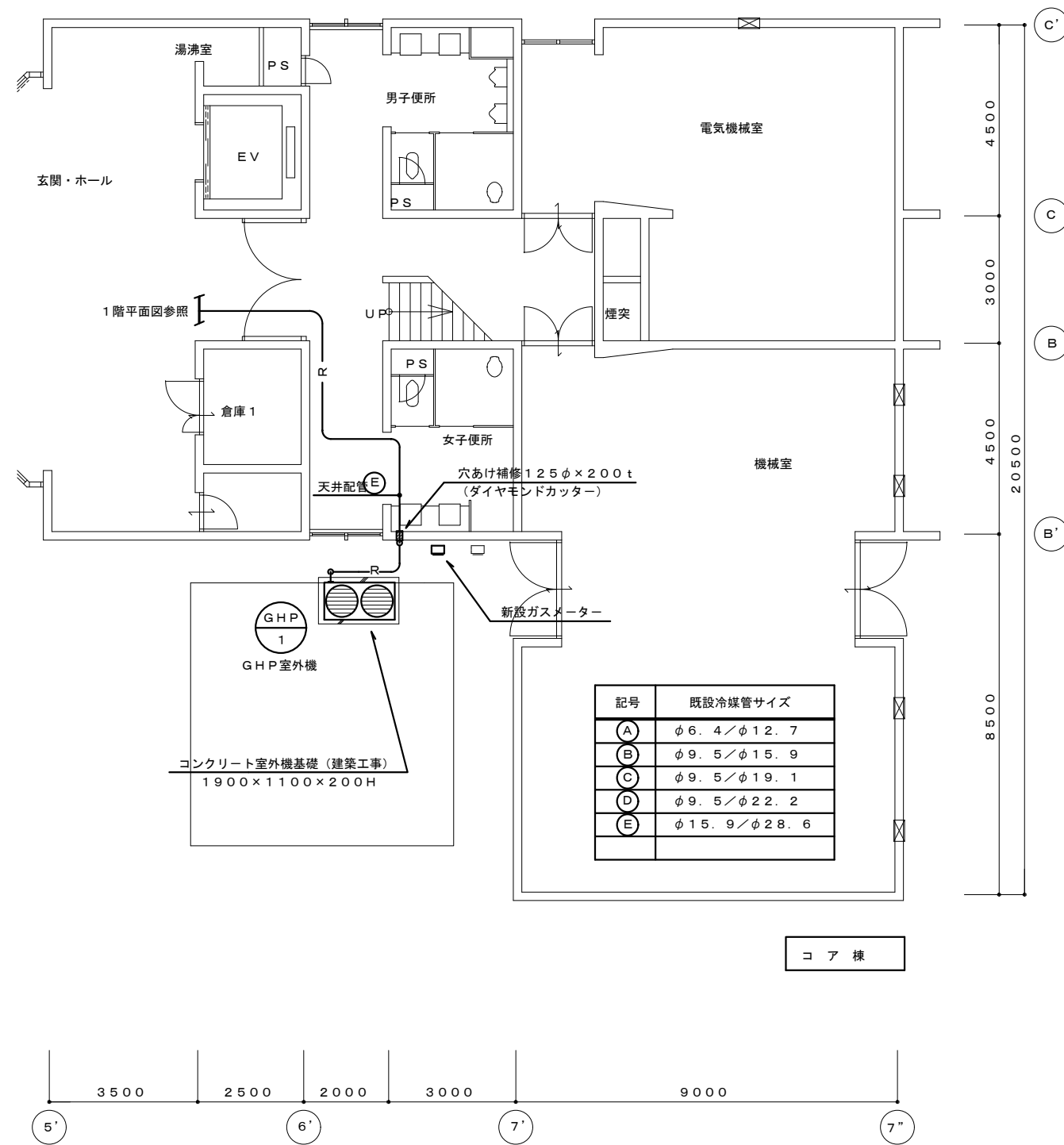
特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. M 3
		6年11月日	年月日		図名	
	 嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検	図	縮尺	1/200	



特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. M
		6年11月 日	年 月 日		あけぼの空調改修平面図	
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検 図	図名		4
		一級建築士 大臣登録 第243356号		縮尺	1/100	

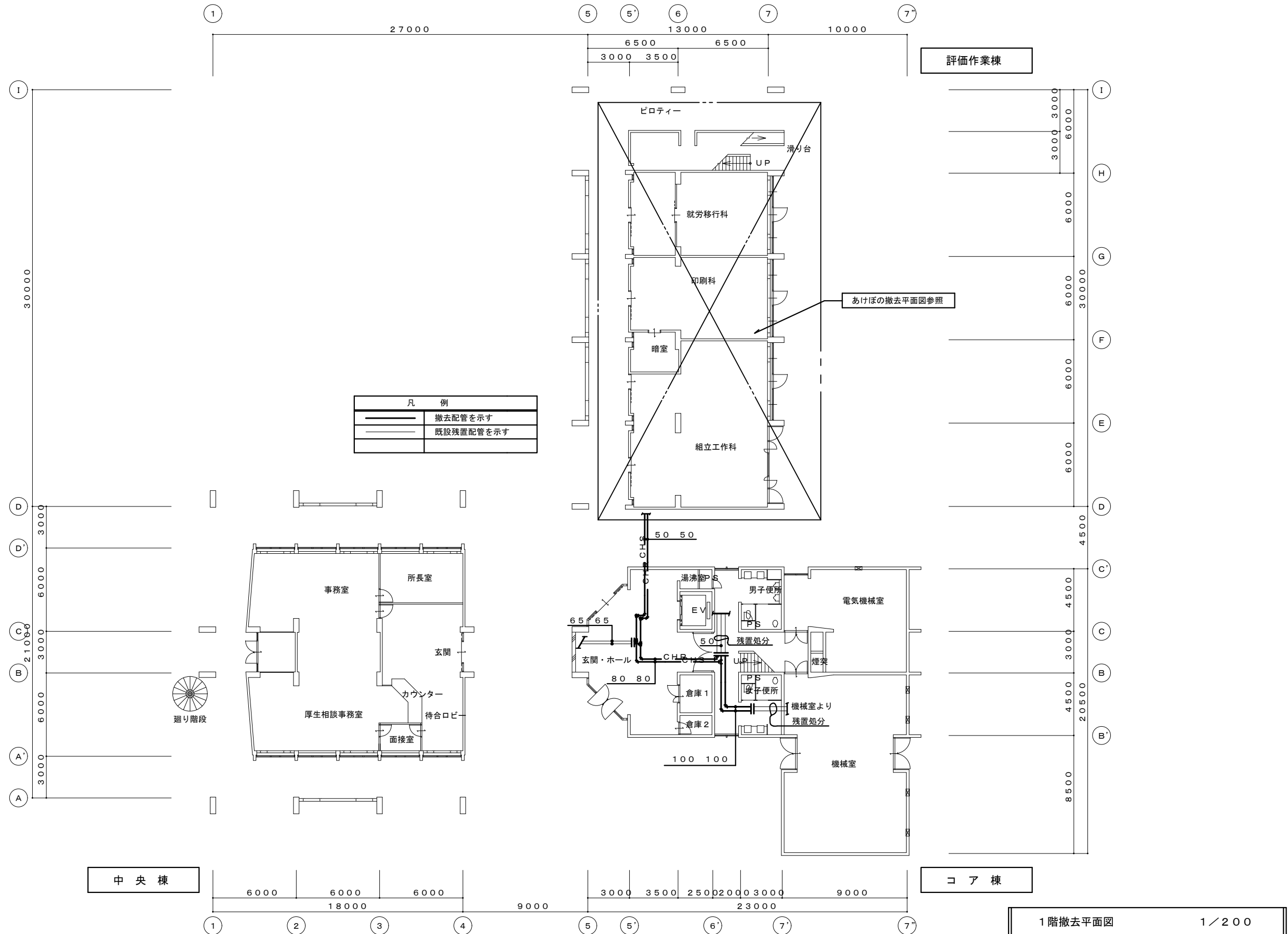


室外機廻りガス配管平面図 1/100



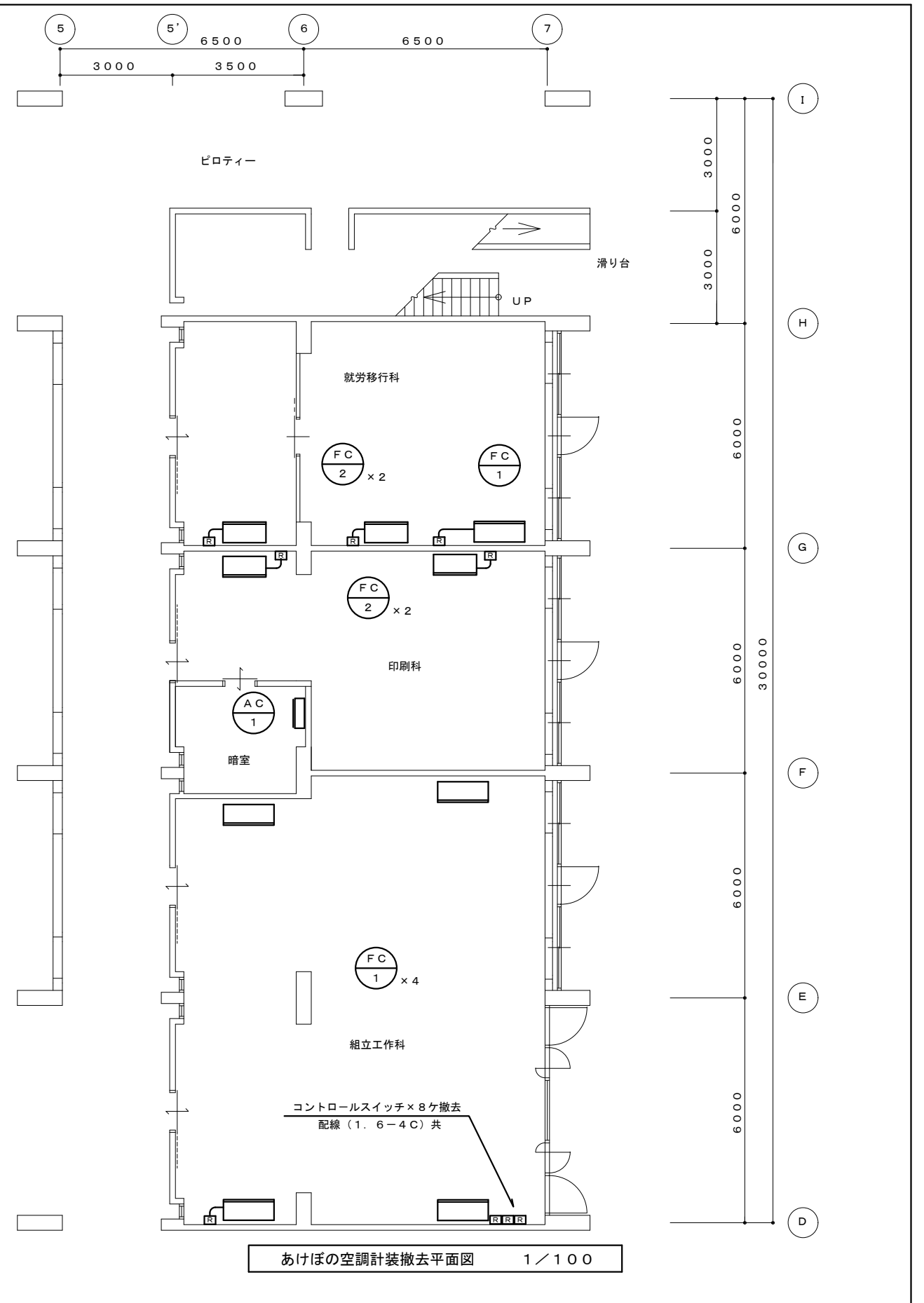
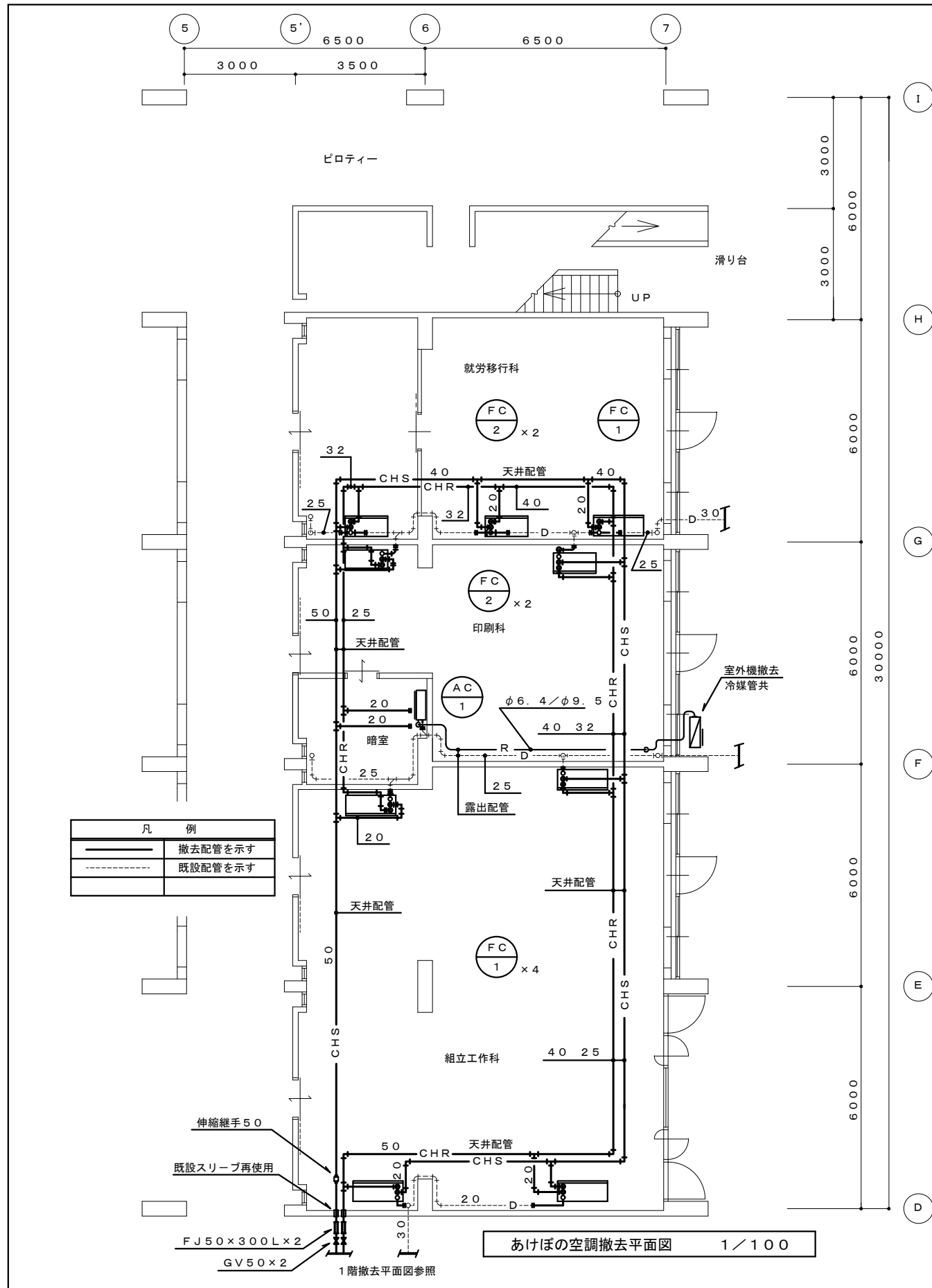
室外機廻り冷媒管平面図 1/100

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	No.
		6年 11月 日	年 月 日		
				図名	5
				縮尺	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号			検図	



1階撤去平面図 1/200

特記事項	設計	設計年月日	訂正年月日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. M 6
		6年 11月 日	年 月 日		図名	
	嶋本一級建築士事務所 一級建築士 嶋本 浩史 一級建築士 大臣登録 第243356号	検	図	縮尺	1/200	登録番号



特記事項	設計	設計年月日 6年 11月 日	訂正年月日 年 月 日	名称	県立総合リハビリテーションセンター あけぼのの家空調改修工事設計図	No. M 7
				図名	あけぼの空調撤去平面図	
	AS 嶋本一級建築士事務所	一級建築士 嶋本 浩史	検	縮尺	1/100	原簿番号
		一級建築士 大臣登録 第243356号	図			